

1 . 平成 2 0 年度事業報告書

- 1 . 概況：重点活動状況
 - 2 . 会員の異動状況
 - 3 . 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）
 - 4 . 事業の状況：研究・調査、研究発表・学術講習会などの開催（定款 5 条 1 号）
 - 5 . 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款 5 条 2 号）
 - 6 . 事業の状況：標準化の推進、普及啓蒙（定款 5 条 3 号）
 - 7 . 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟、連絡・協力（定款 5 条 4 号）
 - 8 . 事業の状況：関連学協会との連絡、協力（定款 5 条 5 号）
 - 9 . 事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）
-
- 付 1 . 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
 - 付 2 . 研究会および研究発表・学術講習会等一覧
 - 付 3 . 刊行物一覧
 - 付 4 . 国際会議一覧
 - 付 5 . 表彰等

1. 平成20年度事業報告書

1. 概況：重点活動状況

本会は日本の情報関係分野において最大級の学会で、日本におけるITの産業、研究、人材育成に不可欠の存在となっている。しかし、会員数は平成3年度から一貫して減少し続けており、このままでは本会の活力が失われていくという危惧がある。平成20年度は、この危惧を払拭し、産業界のニーズに応えるとともに、情報処理分野に関心のある青少年の育成など、中長期的な視点から、アドバイザリーボードからの提言を受け、平成22年度に50周年を迎える本会が、次の50年に向けた学会運営方針を明らかにした。

以上を踏まえて、(1) ITプロフェッショナルの地位向上のための取り組み、(2) 公益法人改革への対応、(3) 創立50周年記念事業の推進について概況を報告する。

1.1 ITプロフェッショナルの地位向上のための取り組み（詳細は9.2項を参照）

(1) 情報処理技術者の資格試験の在り方の検討

情報処理技術者の資格試験のあり方について、情報処理推進機構（IPA）の参画を得て、高度IT人材資格検討WGを設置して検討を行った。この結果、ITSS（IT Skill Standard）に準拠した資格制度を新設し、本会が資格認証機関として機能するようなスキームの基本的な考え方をまとめた。また、その結果をソフトウェアジャパン2009のフォーラムに発表した。

(2) 第三者機関「アドバイザリーボード」の運用開始

産業界（ユーザ企業とベンダー企業）、教育界など、学会の現状と問題点、ニーズ等を分析し、第三者的な見地から情報処理学会の在り方を考える「アドバイザリーボード」の運用を開始し、平成21年3月に本会会長宛に提言を提出いただいた。本会ではこれを受け、(1) 実務家の経験・知識の発露・共有・活用としてのインダストリアルペーパーの創設、(2) 標準化活動の推進、(3) 学術・実務・標準の連携、(4) ダイバシティに向けた取り組み、(5) 積極的な入会の勧誘、(6) 広報活動の活性化など、平成21年度の事業計画に反映していく。

1.2 公益法人改革への対応

平成20年12月に施行された新公益法人制度に対応するため、移行法人の検討、定款ならびに諸規程の改訂作業を進め、平成20年12月22日に臨時総会を開催して「一般社団法人」への移行を決議した。平成21年1月に移行認可申請を行い、行政庁の認可を待ちつつ、移行後の具体的な運営の変更への対応を進めている。

1.3 創立50周年記念事業の推進（詳細は9.1項および事業計画9.3項）

創立50周年（平成22年度）に向けて、記念事業実行委員会ならびに各事業の実働委員会により、各事業を推進した。

2. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数	前年度増減数	備考:20年度の異動				
	20年度末	19年度末			入会		退会		除名
名誉会員	40	40	0	1	2	正会員から異動	2		
正会員	18,103	18,639	-536	-685	523 679 14	学生会員から異動 復会	1,283 2 1	名誉会員に異動 準会員に異動	466
学生会員	2,298	2,374	-76	-143	1,176 5	復会	565 679	正会員に異動	13
準会員	39	43	-4	-6	2 1	正会員から異動	4		3
個人会員 計	20,480	21,096	-616	-833	2,402		2,536		482
賛助会員 (口数)	275 (552)	291 (568)	-16 (16)	-4 (-9)	23 (31)		39 (47)		

* 入会には復会, 再入会を含み, 退会には死亡退会を含む。正会員には終身会員(222名)を含む。

3. 会議等に関する事項 (総会, 理事会, 各種委員会)

※付録1 (p.15~p.24) に掲載する。

4. 事業の状況 : 研究・調査ならびに研究発表・学術講習会などの開催 (定款5条1号)

4.1 調査研究活動 [所掌: 調査研究運営委員会]

研究会(35)と研究グループ(4)が研究分野ごとに「コンピュータサイエンス領域」「情報環境領域」「フロンティア領域」「調査研究運営委員会」のいずれかに所属し, 調査研究活動の活性化を図った。

※各研究会等の詳細および研究発表会(148件), シンポジウム(22件)の開催状況の詳細は, 付録2 (p.25~p.31) に掲載する。トランザクションについては, 5.4項に掲載する。

(1) 学生会員の取り組み

学生会員の研究会参加の促進と育成を目的に, 平成17年度から学生の1研究会登録費の無料化を継続している。

(2) 研究会活動のオンライン化への取り組み

刊行物オンライン化委員会の検討推進のもと, 平成21年度の研究会活動の全面オンライン化に向けた対応として, ペーパーレス研究発表会の一部試行を行うとともに, 研究報告・シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を開始した。

(3) 諸活動との連携・協力

会誌へ各研究会の活動を紹介するコラムを掲載した。また、領域委員会を通じて委員の派遣やプログラム編成等、全国大会への協力を引き続き行った。

4. 2 教育活動 [所掌：情報処理教育委員会]

(1) 大学・大学院での専門教育向けの活動

- ① みずほ情報総研の「学部段階に置ける情報専門教育カリキュラム標準に基づく実践的情報教育の実施方法に関する調査研究の委託」を受け、昨年度策定した J07 の国内全般への普及を推進した。
- ② 日本技術者教育認定機構（JABEE）の諸活動を通して、大学での専門教育の質的向上を推進した。具体的には、JABEE からの業務委託にあたる審査に加え、審査員の養成を進めている。また、大学院教育の質的向上に向けて、認定の実施も含めた方策の検討を JABEE が進めているが、それに積極的に協力している。さらに、国際協調体制の可能性を探り始めている。

(2) 社会人向けの活動

- ① CPD^{*}、資格・試験制度、技術士制度などについては、今年度から設置された IT プロフェッショナル委員会において検討が進められている。
※CPD：Continuing Professional Development
- ② 科学技術振興機構（JST）の「Web ラーニングプラザ」教材制作の委託を受け、「デジタル回路」および「オペレーティングシステム」を制作した。

(3) 初等・中等教育，大学一般向けの活動

- ① 高等学校の教科「情報」に関して、内容の検討，教科書施策を継続して行うとともに、シンポジウム等を通して現場の先生との連携の場を広げている。その一環として、教員の知識と技能のチェックリストを作成し公表した。また、小学校・中学校での教育の情報化と情報教育について各種の試行・支援を続けている。
- ② 初等・中等教育での状況も踏まえて、大学での新しい姿の一般情報教育を推進すべく教科書など教材の整備・提供に努めるとともに、一般情報処理教育の知識体系（GEBOK）の検討を開始した。一般情報教育を推進すべく GE カリキュラムの策定に向けて対応中である。
- ③ 各種のコンテストの後援などを継続して行うとともに、情報分野に対する学生・生徒の興味をもたせる諸活動への支援を行っている。

(4) 専門職大学院の分野別評価の調査研究

- ① 文部科学省「平成 20 年度大学評価研究委託事業」の委託を受けて、IT 専門職大学院の認証評価モデルの研究開発を行った。

4. 3 事業活動 [所掌：事業推進委員会]

※各開催状況の詳細は付録 2（p.32）に掲載する。

(1) 全国大会

第 71 回全国大会を平成 21 年 3 月 10 日～12 日に立命館大学で開催した。本大会では、招待講演、特別セッション、シンポジウムなどのイベントを企画開催した。また、通例の一般セッション、学生セッション、デモセッションを行った。講演申込件数は 1,203 件（一般セッション 283 件、学生セッション 910 件、デモセッション 10 件（前年度講演数：1,535 件））、総参加者数は 2,270 名であった。

(2) FIT2008 第 7 回情報科学技術フォーラム

FIT2008（第 7 回情報科学技術フォーラム）を、平成 20 年 9 月 2 日～4 日に慶應義塾大学湘南キャンパスにおいて開催した。講演件数は 670 件、総参加者数は 1,455 名であった。

(3) 連続セミナー

「インターネットの進化－これまでの 20 年と今後の発展を考える－」を全体テーマとし、年度内に、第 1 回「インターネットの発展と WIDE プロジェクトの役割」、第 2 回「IPv6 のある世界」、第 3 回「Mobile & Wireless」、第 4 回「実世界とインターネット」、第 5 回「インターネットオペレーション」、第 6 回「インターネットとコンテンツ流通」の全 6 回にわたって開催、108 名の参加があり盛況であった。

(4) プログラミング・シンポジウム

年度内に 3 回のシンポジウムを開催した。

4. 4 技術応用活動 [所掌：技術応用運営委員会]

(1) IT フォーラムの活動活性化に向けた対応

- ① IDG ジャパンとの Web、メールニュース、雑誌の交換広告を実施した。
- ② IT メディアからソフトウェアジャパンへのメディア協賛を行った。
- ③ ビジョン検討 WG でインダストリアルペーパーの刊行を検討した。
- ④ 高度 IT 人材育成：第 71 回全国大会でシンポジウム「IT 専門職大学院とその認証評価」を開催した。

(2) アウトリーチの評価

1) IT フォーラム登録者：約 1,482 名

2) ソフトウェアジャパン (SJ) スポンサー・サポーター

SJ2009：28 組織 SJ2008：39 組織 SJ2007：33 組織 SJ2006：29 組織 SJ2004：38 組織

3) ソフトウェアジャパン (SJ) 参加者申込者

過去の参加申込者の所属学会をみると、半数以上が本会以外（無所属）

SJ2009：666 名中 373 名 SJ2008：325 名中 134 名 SJ2007：348 名中 175 名

SJ2006：117 名中 54 名 SJ2004：327 名中 209 名

4) フォーラムからのアウトリーチ活動

① イノベティブ社会基盤フォーラム

議論の結果を具体的な政策提言へと結びつけている。

－産業構造審議会情報経済部会におけるフォーラムメンバーからの提言

－フィルタリング規制法案策定における民間企業からの提言

また、前回のソフトウェアジャパン 2008 の際には、並行して開催したネット会議にニコニコ動画開発者他多数の参加があり、そこでの議論の余波として、ニコニコ中継をはじめとした新たなソリューション展開へとつながっている。このネット会議（チャット、ネット中継、Twitter）には、2 時間のフォーラムセッション中、平均して 60 名程度の参加者があった。その後、2 回ほど開催したフォーラムのネット中継にも概ね 50 人以上参加している。多くの方が学会とはあまり関係がない所謂ネット業界の若手である。

② 高度人材育成

外部組織へのアウトリーチとしては、経済産業省、IPA、文部科学省、総務省がある。産業界関係では、JISA、JUAS、他に、日本技術士会・情報工学部会。

③ サービスサイエンス

主に Software Japan でのシンポジウム／パネルなどで活発に活動している。

④ ユーザスタディ

“Design Ethnography” 機会発見のためのデザインリサーチ（日本産業デザイン振興会主催イベント）への協賛。他団体との連携・交流イベントを実施（日本産業デザイン振興会，人間中心設計推進機構，デザイン知識論研究会等）。

(3) 「ソフトウェアジャパン 2009」の開催

「ソフトウェアジャパン 2009」（平成 21 年 1 月 27 日，大手町サンケイプラザ）を企画開催し，産業界とのコラボレーションを推進した。総参加者数：666 名（うち無所属 373 名），スポンサー：5 組織（6 口），サポーター：20 組織（26 口）。

4. 5 支部活動

支部総会への本部役員の出席（4～5 月），FIT と併催の支部長会議（9 月），および 12 月役員検討会に支部長の出席を得て，特に学生会員への支援について本部支部間の意見交換の充実を図った。

(1) 北海道支部（支部長：鈴木恵二）

- ① 支部総会（4 月 21 日，於北海道大学，出席者 127 名（委任状 117 名を含む））
- ② 情報処理北海道シンポジウム 2008（9 月 19 日，於稚内北星学園大学，参加者 55 名）
- ③ 講演会（1 回）
- ④ 幹事会（4 回），評議員会（1 回）ほか
- ⑤ 支部研究奨励賞，同学術研究賞，同技術研究賞，同優秀ポスター賞，工業高等専門学校奨励賞

(2) 東北支部（支部長：亀山充隆）

- ① 支部総会（5 月 28 日，於東北大学，出席者 180 名（委任状 163 名を含む））
- ② 電気関係学会東北支部連合大会（8 月 21 日～22 日，於日本大学，講演 376 件，延参加者 650 名）
- ③ 講演会（7 回），研究会（6 回）
- ④ 役員会（1 回），幹事会（1 回）
- ⑤ 支部奨励賞，支部学生奨励賞，支部野口研究奨励賞表彰

(3) 東海支部（支部長：岩田彰）

- ① 支部総会（5 月 16 日，於愛知厚生年金会館，出席者 264 名（委任状 225 名を含む））
- ② 電気関係学会東海支部連合大会（9 月 18 日～19 日，於愛知県立大学，一般講演 617 件，オーラルセッション 523 件ほか，大会参加者 1,218 名）
- ③ 講演会（6 回），研究会他（6 回），学生研究発表会支援
- ④ 評議員会（2 回），幹事会（5 回）
- ⑤ 学生論文奨励賞表彰

(4) 北陸支部（支部長：広瀬貞樹）

- ① 支部総会（5 月 16 日，於富山大学，出席者 110 名（委任状 93 名を含む））
- ② 電気関係学会北陸支部連合大会（9 月 12 日～13 日，於富山大学，講演 381 件）
- ③ 講演会（7 回），見学会（1 回），学生研究発表会
- ④ 幹事会・評議員会（4 回）
- ⑤ 支部優秀論文発表表彰，支部優秀学生表彰，研究業績賞

(5) 関西支部（支部長：田中克己）

- ① 支部総会（5 月 23 日，於京都市産業技術研究所，出席者 412 名（委任状 372 名を含む））

- ② 支部大会（10月24日，於京都リサーチパーク，参加者248名，論文発表107名，特別講師5名）
- ③ ビジュアルインフォメーション研究会（2回），環境知能研究会（3回），ものづくり基盤コンピューティングシステム研究会（3回），メディア・インタラクション研究会（2回），セミナー（1回），講演会（2回）
- ④ 評議員会・幹事会合同会議（1回），幹事会（4回）
- ⑤ 学生奨励賞表彰

(6) 中国支部（支部長：田中章司郎）

- ① 支部総会（5月23日，於広島大学）
- ② 電気・情報関連学会中国支部連合大会（10月25日，於鳥取大学，発表390件）
- ③ 講演会（15回），講習会（2回），研究会・シンポジウム（3回）
- ④ 評議員会・幹事会（2回）
- ⑤ 支部優秀論文発表賞，支部奨励賞

(7) 四国支部（支部長：菊地時夫）

- ① 支部総会（5月17日，於徳島大学，出席者85名（委任状出席68名を含む））
- ② 電気関係学会四国支部連合大会（9月27日，於徳島大学，参加者657名，講演435件）
- ③ 講演会等（3回），研究会（4回）
- ④ 役員会（4回）
- ⑤ 支部奨励賞表彰

(8) 九州支部（支部長：尾家祐二）

- ① 支部総会（5月9日，於九州工業大学，出席者207名（委任状197名を含む））
- ② 電気関係学会九州支部連合大会（9月24日～25日，於大分大学，参加者991名）
- ③ 若手の会セミナー（9月9日～10日，於休暇村志賀島），火の国情報シンポジウム2008（平成21年3月13日～14日，於九州産業大学），講演会等（13回）
- ④ 幹事会（3回），評議員会（1回）
- ⑤ 支部奨励賞表彰

4. 6 表彰等 ※付録5（p.37～p.40）参照

5. 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款5条2号）

※各発刊状況の詳細は付録3（p.33～p.35）に掲載する。

5. 1 会誌「情報処理」（月刊） [所掌：会誌編集委員会]

(1) 会誌の編集

- ① 8月を除く毎月1回編集委員会を開催し，会誌「情報処理」第49巻4号から第50巻3号まで計12号（本文1,428ページ，広告78ページ，平均発行部数21,036部／号）を編集発行した。
- ② 川合慧編集長のもと，記事の構成およびレイアウトを工夫し，役立つ会誌，読みやすい会誌の編集を心がけた。
- ③ 特集「研究会推薦博士論文速報」の掲載，コラム「わが支部の魅力はここにあり」，道しるべ「計算の視点から音楽の構造を眺めてみると」の連載を開始した。

(2) 広告の状況

- ① IPSJ メールニュース、バナー広告、Web の人材募集広告ともに掲載がとぎれることなく順調に進んでいる。
- ② 学生向けの「就職情報」についても順調な掲載がされている。

5. 2 「Journal of Information Processing (JIP)」 [所掌：学会論文誌運営委員会]

(1) 「Journal of Information Processing (JIP)」の復刊と刊行体制の確立

IPSJ Digital Courier (DC) を発展的に継承するオープンアクセスの英文オンラインジャーナルとして、平成 5 年度より休刊状態であった「Journal of Information Processing (JIP)」の刊行を 4 月より再開した。トムソン・ロイターの Web of Science 収録基準を満たす刊行体制に向け、独立した編集委員会、編集規則のもとでの編集を開始し、8 月を除く毎月 1 回定例の編集委員会を開催した。第 16 巻 1 ページから第 17 巻 137 ページ（論文 29 編，テクニカルノート 1 編，本文 355 ページ）を編集発行した。

(2) 論文査読管理システム (PRMS*) の英語での運用

11 月より論文査読管理システム (PRMS) 英語版の運用を開始した。

※PRMS : Paper Review Management System

(3) 情報関係学会英文論文合同アーカイブズ (IMT*) の刊行体制の維持

平成 18 年度より刊行している IMT の編集運営会議幹事学会として、その安定した編集と定期的な刊行を支援し、84 編を掲載した。

※IMT : Information and Media Technologies

現在 7 学会（映像情報メディア学会，言語処理学会，人工知能学会，日本ソフトウェア科学会，ヒューマンインタフェース学会，日本データベース学会，および本会）が参加している。

5. 3 「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」(月刊) [所掌：学会論文誌運営委員会]

(1) 「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」の編集

8 月を除く毎月 1 回定例の編集委員会を開催し、「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」第 49 巻 4 号から第 50 巻 3 号まで計 12 号（論文 321 編，テクニカルノート 19 編，本文 4,131 ページ，購読者数 4,547 名）を編集発行した。

(2) 論文査読管理システム (PRMS) の運用

平成 19 年度より著者と査読者へのサービス向上のため運用している論文査読管理システム (PRMS) の運用を安定的に行った。さらに査読者からの意見を聞きながら改良を加えている。

(3) 特集号企画の充実

産学連携，シンポジウム連携，研究会連携などの特集号を企画し，充実した論文誌の出版に成功した。特集号企画をより充実させるため，査読期間の短いテクニカルノートの先行発行，シンポジウムとの並行投稿などの新しい試みにも取り組んだ。

5. 4 「情報処理学会論文誌 (トランザクション)」 [所掌：学会論文誌運営委員会]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌 (トランザクション)」8 誌を年度内に計 26 号発行した。

5. 5 論文誌および研究会活動のオンライン化 [所掌：刊行物オンライン化委員会]

創立 50 周年記念事業の一環として、論文誌および研究会の活動を段階的にオンライン化・ペーパーレス化し、価格の低減化ばかりではなく、オンライン化することで得られるメリットを最大限追求することを目指して対応を推進している。

本年度は、論文誌のオンライン出版と紙媒体による刊行の廃止を実現するとともに、平成 21 年度以降の研究会活動（研究発表会・シンポジウム等）のオンライン化・ペーパーレス化を推進し、会員に周知した。

また、発行後 2 年を超える刊行物（会誌、論文誌、研究報告）については、国立情報学研究所の CiNii 上でオープンアクセス可能（平成 20 年 9 月より）とした。

5. 6 学術図書 [所掌：出版委員会]

(1) 英文図書

8 月に「Broadband Internet Deployment in Japan」を新たに刊行した。

(2) IT Text シリーズ

“IT Text”シリーズの編集を進め、新たに「情報倫理」「Java/UML によるアプリケーション開発」「Java オブジェクト指向プログラミング」の 3 冊を刊行した。

5. 7 歴史関連活動 [所掌：歴史特別委員会]

(1) 歴史資料の調査・収集・整理・保管

① 「情報処理技術遺産」および「分散コンピュータ博物館」の認定を今年度から開始した（初回認定式：21 年 3 月 2 日）。

② コンピュータ実博物館の実現に向け活動を継続している。

(2) 「コンピュータ博物館」の充実

① 日本語版：1991-2000 年のパソコン、ワープロ、磁気テープ装置、磁気ディスク装置、プリンタ、OS（メインフレーム）、周辺装置、カード・紙テープの公開準備。

② 英語版：OS の翻訳および公開準備、英語版の CMS 化。

③ 「情報処理技術遺産」および「分散コンピュータ博物館」の記事追加。

(3) オーラルヒストリー

6 名の方のインタビューを行った。

(4) 単行本「日本のコンピュータの歴史（1981-2000 年版）」の編集

(5) 卓越技術データベースの公開

電気電子・情報関連 5 学会と国立情報学研究所（NII）が共同作成した卓越技術 DB（電気のデジタル博物館）を公開（20 年 3 月 26 日）した。

(6) 全国大会セッション企画

第 2 回目となる「私の詩と真実」企画を行った。

5. 8 著作権 [所掌：著作権委員会]

研究発表会のオンライン化に伴う電子情報通信学会との著作権の扱いについて、研究発表会の新たな共催方法として「連立開催（連催）」を可能とした。

日本音響学会と著作権に関する包括契約を結んだ。

6. 事業の状況：標準化の推進ならびに普及啓蒙（定款5条3号）

6. 1 JTC1の主なトピックス [所掌：情報規格調査会]

(1) JTC1の今後

1) SWG on Planning

2007年のJTC1総会で発足が決まり、2008年のJTC1総会に向けてLong Term Business Plan (LTBP)の改訂と、Technology Watchの企画および運営を行った。

2) Technology Watch

今年度は、JTC1総会が奈良で開催されることもあって、Technology Watchのセッションを日本が責任を持ってアレンジすることとなり、重要と考えられるテーマとして「Green IT」や「IT contribution to sustainability」を含む「Environment and IT standards」をメインに据えた。

(2) JTC1関連のその他の事項

1) JTC1 Directives

今年度は、JTC1 DirectivesとISO/IEC Directivesとの整合化に向けて、JTC1 Supplementの作成を中心に活動した。

2) JTC1総会の日本招致

2008年は日本としてJTC1総会を奈良に招致し、2008年11月10日から15日に、18カ国からの115名の参加者を迎えて、奈良県新公会堂（奈良市）で開催した。

6. 2 日本の活動状況 [所掌：情報規格調査会]

(1) 日本提案による国際標準化の推進

① 日本が2008年度に提案して承認された新業務作業項目（NP）：2件

- ・ Enhanced terminal accessibility (ETA) using cardholder preference interface (SC17)
- ・ ISO/IEC 29171: Information Versatile Disk for Removable usage (iVDR) (SC23)

② 日本が2008年度に提案して投票中の新業務作業項目（NP）：1件

- ・ Radio frequency identification for item management -- Experimental evaluation method for impact distance and mitigation method of Electromagnetic Interference (EMI) from RFID interrogators on active implantable medical devices (SC31)

③ 日本が2008年度に提案して承認されたFast-track DIS：0件

- ・ 日本が2008年度提案したFast-Track DISはなかった。

④ 日本が提案して2008年度にISが発行された規格：6件

(2) 国際会議への参加

全部で324回の会議が開催され、日本からは241回の会議に1,143名が参加した。

(3) 国際の役職引受け

① 議長：4名 ②コンビーナ：13名 ③ラポータ：4名 ④SC セクレタリアート：5 SC ⑤WG セクレタリアート：4 WG ⑥プロジェクトエディタ：210 プロジェクトで 99名

(4) 国内委員会の開催状況

事業執行関連：37回，技術活動関連：494回

(5) 国内委員会への参加

国内委員会への延参加者数：1,502名，委員：1,126名，エキスパート/オブザーバ：337名，リエゾン：29名，メールメンバ:10名

6. 3 その他

(1) 広報活動

- ① 「情報技術標準 Newsletter」：季刊誌（年4回）および別冊（年1回）を発行した。
- ② 情報技術標準化フォーラムの開催
 - ・「標準化人材の裾野の拡大の重要性」
 - ・「“国際標準化戦略論”の講義経験に基づく標準化人材育成の課題」
- ③ プレスリリース：「公開セミナー「世界の情報アクセシビリティ最新活動状況」

(2) 表彰

※付録5（p.40）参照

7. 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟ならびに連絡・協力（定款5条4号）

7. 1 国際活動 [所掌：国際業務委員会，IFIP委員会]

※国際会議の開催状況は付録4（p.36）に掲載する。

(1) IEEE-Computer Society (IEEE-CS) との連携・協力

- ① IEEE-CS と本会が founder（毎年共催，第8回目）の国際会議「The 2008 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2008)」を2008年7月28日～8月1日にフィンランドで開催した。
- ② 第71回全国大会において IEEE-CS 次期会長 Susan K. Land 氏の招待講演が行われた。
演題「Software Standards - Providing Support for Today's Software Crisis」
- ③ IEEE および IEEE-CS との協定書・覚書を更新した。
- ④ IEEE-CS 会長が本会を訪問（9月19日）し，IEEE-CS の資格制度の紹介と情報交換を行った。

(2) International Federation for Information Processing (IFIP) の活動状況

- ① IFIP 主導の資格制度「IFIP I3P」の会合への参加
IT プロフェッショナル資格の国際的な取組みとして，IFIP が主導する資格制度「IFIP I3P (International Professional Practice Programme)」の会合にオブザーバとして参加し，IT プロフェッショナル委員会，ISO/IEC 担当の規格部門，情報処理推進機構（IPA）の情報処理技術者試験担当とも連携しながら学会としての方向性を検討した。
- ② IFIP 日本代表ならびに TC-Chair の総会 General Assembly (GA)，理事会 Council への参加
IFIP 総会に齊藤 IFIP 日本代表と TC14 中津 chair が参加した。

- ③ 各 TC 日本代表の TC-meeting への参加

TC Chair 数名 (TC2, TC8, TC9, TC11, TC12, TC14) が WCC に併設された TC に参加した。

- ④ IFIP 活動の周知

会誌への活動報告, 会議レポートの掲載のほか, メールニュース, Web を利用した情報発信を行った。

(3) アジア地域, その他の学協会との連携・協力

- ① The Korean Institute of Information Scientists and Engineers (KIISE) との連携・協力

双方の全国大会において交互に会長を招聘し, 招待講演を実施している。今年度は第 71 回全国大会 (2009 年 3 月) に KIISE 次期会長 Sung Jo Kim 氏を招いて招待講演が行われた。

演題「The Seoul Accord: Toward Mutual Recognition of Accredited Computing Programs for Computing Professions」

- ② 他の海外学会との協力関係継続

Australian Computer Society (ACS) から若手研究者交流の協議のために Yohan Ramasundara 理事が来日し, 今後の協力関係について協議した。

(4) 国際会議の開催 (5 件)

- ① The 4th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008)

開催日: 2008 年 6 月 11 日 (水) ~ 13 日 (金), 開催地: 東京都, 参加者数 56 名

- ② 4th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2008)

開催日: 2008 年 8 月 30 日 (土) ~ 31 日 (日), 開催地: 和歌山県, 参加者数 67 名

- ③ International Workshop on Security (IWSEC2008)

開催日: 2008 年 11 月 25 日 (火) ~ 27 日 (木), 開催地: 香川県, 参加者数 72 名

- ④ Asia and South Pacific Design Automation Conference 2009 (ASP-DAC2009)

開催日: 2009 年 1 月 19 日 (月) ~ 22 日 (木), 開催地: 神奈川県

- ⑤ The 9th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2009)

開催日: 2009 年 3 月 23 日 (月) ~ 25 日 (水), 開催地: ギリシャ

(5) その他

- ① The International Association for Pattern Recognition (IAPR) 活動への参加

積極的な活動を行い, IFIP 活動報告の一部として会誌に報告している。

8. 事業の状況: 関連学協会との連絡および協力 (定款 5 条 5 号)

8. 1 関連学協会・日本学術会議

- (1) 電気・情報関連学会連絡協議会への参加

電気・情報関連学会連絡協議会に参加し, 各学会の共通の問題について意見交換を行った。

- (2) 日本工学会への参加

日本工学会に参加し, 関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

- (3) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会 (情報・システムソサエティほか) との共催による「情報科学技術フォーラム (FIT) (前 4.3 項参照)」他, 研究発表会および学術講習会において関連学協会等と適宜共催を行った。

(4) 日本学術会議への協力

日本学術会議協力学術研究団体として日本学術会議の活動に協力した。また、平成 21 年 1 月に、日本学術会議代表者と電気・情報関連学会役員との連絡会を設け、意見交換を行った。

8. 2 会議の協賛後援等

(1) 国内会議の協賛・後援等

「システム検証の科学技術シンポジウム」（日本ソフトウェア科学会主催，平成 20 年 11 月 17 日～19 日）ほか 133 件の協賛・後援等を行った。

(2) 国際会議の協賛・後援等

「情報化社会におけるプライバシーとセキュリティ」（日本工学アカデミー主催，平成 20 年 11 月 11 日～12 日）ほか 12 件の協賛・後援等を行った。

9. 事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）

9. 1 創立 50 周年記念事業の推進 [所掌：創立 50 周年記念事業実行委員会]

創立 50 周年（平成 22 年度）に向けて，記念事業実行委員会ならびに各事業の実働委員会により，各事業を推進した。

※創立 50 周年記念事業の詳細は「平成 21 年度事業計画 9.3 項（p.84）」を参照。

9. 2 IT プロフェッショナルの地位向上のための取組み

(1) 情報処理技術者の資格試験の在り方の検討 [所掌：IT プロフェッショナル委員会]

情報処理技術者の資格試験のあり方について，情報処理推進機構（IPA）の参画を得て，高度 IT 人材資格検討 WG を設置して検討を行い以下の結論を得た。

- ・ ITSS（IT Skill Standard）に準拠した資格制度とし，レベル 4～7 を対象とする。
- ・ 本学会に資格認証委員会を設置する。
- ・ 資格認証委員会委員会により認定されたアセッサーが資格審査会に派遣され，審査を行う。
- ・ 審査に合格した技術者を，本学会が資格者として認証する。
- ・ 各企業は，審査会の場所の提供および候補者の取り纏めなどの事務処理を分担する。
- ・ 制度設計に当っては，情報処理国際連合（IFIP）の IP3（International Professional Practice Partnership）を参考にし，国際的に通用する資格制度となるようにする。

(2) 第三者機関「アドバイザーボード」の運用開始

本会の一層の活性化を図るべく，産業界（ユーザ企業とベンダー企業），教育界など，幅広い視点から学会の現状と問題点，ニーズ等を分析し，第三者的な見地から情報処理学会の在り方を考える「アドバイザーボード」の運用を開始した。今年度は，傘下のビジョン検討 WG の分析・報告を基に，年度内に会合を 2 回開催し，3 月にアドバイザーボードから本会会長宛に提出された提言を謹んで受領した。

（提言に対応した事業計画は「平成 21 年度事業計画 9.1 項（p.80）」を参照。）

アドバイザーボード初代座長：石原邦夫 氏（東京海上ホールディングス(株)取締役会長

／日本経団連 情報通信委員会 共同委員長／日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）会長）

(3) 社会への各種提言

- ① 内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）への意見書（2009年1月）

9. 3 入会促進・広報活動

(1) 学生会員の獲得と育成

- ① 引き続き、学生会員育成委員会のもとで、研究会と支部が協力し、新規学生会員の獲得と1研究会への無料登録を継続した。
- ② 学生会員をエンカレッジするため船井情報科学振興財団の協力で平成17年度から設けられた「IPSJ論文船井若手奨励賞」に受賞候補者10名を推薦した。

(2) 実務家の取り込み

技術応用活動（前4.4項）やセミナー（前4.3項）等により実務家の取り込みに向けた活動を推進した。

(3) 新たな賛助会員の取り込み

技術応用活動やITプロフェッショナルに向けた取組みと連携し、新たな賛助会員の取り込みに努めた。

(4) その他

各種行事等の場における入会促進、電子メールによる学会紹介、IPSJメールニュースの充実等の広報活動、ホテル・レンタカー等会員優待サービスの充実に努めた。また、情報関連展示会の場において本会の活動を紹介した。

9. 4 運営の充実改善等に関する事項

(1) 公益法人改革への対応

平成20年12月に施行された新公益法人制度に対応するため、移行法人の検討、定款ならびに諸規程の改訂作業を進め、平成20年12月22日に臨時総会を開催して「一般社団法人」への移行を決議した。平成21年1月に電子申請により移行認可を行い、移行後の具体的な運営の変更への対応を進めている。

(2) 電子化の推進

- ① 旧くなった学会マネジメントシステムのサーバリプレースを行った。
- ② 会員認証／プロフィール更新システムのセキュリティを強化した。
- ③ ジャーナルの論文査読管理支援システム（PRMS）の英語版の運用を開始した。また、トランザクションの査読管理システムの開発を推進した。
- ④ 研究報告、シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を推進した。

9. 5 その他

事務局職員の年度末在籍者は23名（本部15名、規格8名）である。

以上

各種委員会

委員長・主査， 副委員長・財務委員， 幹事・副査， 担当理事（担務）、*オブザーバ， アドバイザ委員

1. 創立50周年記念事業

1.1 創立50周年記念事業実行委員会（平成20年度）

/ 佐々木元、 / 土井美和子、 中島秀之、 / 喜連川優、委員（各実働母体の委員長・幹事）：旭 寛治、松田晃一、橋田浩一、川合 慧、松原 仁、武田浩一、中島 浩、平田圭二、坂井修一、柴山悦哉、田中 譲、中田登志之、後藤厚宏、吉野松樹、芝田 晃、守安 隆

[平成20年4月25日、7月22日、10月24日、平成21年1月23日、3月23日 いずれも理事会と併催]

記念事業の企画詳細検討・進捗報告

1.1.1 刊行物オンライン化委員会（平成20年度）

中島秀之、 / 喜連川優、 中島 浩、 平田圭二、 坂井修一、 / 柴山悦哉、 後藤厚宏、 芝田 晃、 田中 譲、 萩谷昌己、 守安 隆、 吉野松樹

[平成20年8月27日、12月2日、NIIとの打合せ：平成20年4月18日、10月17日、平成21年3月23日、ほか電子メールベース]

研究会および論文誌関係の刊行物オンライン化の推進

1.1.2 次世代ハンドブック編纂委員会（平成20年度）

橋田浩一、 / 芝田 晃、 中島 浩、 / 星 徹、 / 松原 仁、大蒔和仁、岡田謙一、後藤真孝、佐藤三久、武田浩一、寺田真敏、長尾 確、前田敦司

[平成20年5月30日、7月3日、7月18日、8月22日、ほか電子メールベース] 次世代ハンドブック編纂の推進

1.1.3 記念全国大会組織委員会（=第72回全国大会組織委員会）

/ 喜連川優、 / 山本里枝子、 芝田 晃、 守安 隆、 武田浩一、 田中 譲、 萩谷昌己、 中田登志之、堀内浩規、小島啓二

[平成20年7月11日、10月14日、平成21年1月13日、2月25日] 記念全国大会開催の推進

1.1.4 記念会誌編纂委員会（=会誌編集委員会）

川合 慧、武田浩一、松原 仁、青柳 隆、石田 亨、位野木万里、兼宗 進、熊谷誠治、久門耕一、胡 振江、佐伯元司、坂田祐司、坂本直志、白井良成、白木善尚、田中哲朗、田中秀樹、長谷川亨、前田英作、間瀬久雄、山崎竹視、山田一郎、山之内徹、山本里枝子

[（6.1会誌編集委員会の開催と同じ）] 記念会誌の企画・推進

1.1.5 トッププロ棋士に勝つためのコンピュータ将棋委員会

中島秀之、 / 松原 仁、飯田弘之、伊藤毅志、柿木義一、岸本章宏、小谷善行、瀧澤武信、棚瀬 寧、鶴岡慶雅、橋本 剛、保木邦仁、山下 宏、横山大作、柴山悦哉、関口智嗣、中島 浩、吉野松樹

[平成20年9月5日～7日（合宿形式）、傘下のWG開催随時、ほか電子メールベース]

コンピュータ将棋とプロ棋士の対戦実現の推進

1.1.6 50年史編纂委員会（平成20年度）

旭 寛治、石崎 俊、 / 喜連川優、 / 武田浩一、 / 松原 仁、発田 弘、前島正裕、柳川隆之、山田昭彦、和田英一

[平成21年1月23日、ほか電子メールベース] 50年史編纂の推進

1.1.7 記念論文選考委員会（=学会論文誌運営委員会）

/ 喜連川優、柴山悦哉、高橋 修、田中 譲、萩谷昌己、星 徹

[平成20年7月25日、9月2日] 記念論文公募の企画

1.1.8 記念事業総務財務委員会（平成20年度）

/ 土井美和子、 / 中田登志之、 後藤厚宏、 吉野松樹、 芝田 晃、 守安 隆

[平成20年4月18日、10月14日、平成21年1月15日、3月16日] 記念事業の全体調整 / 予算執行管理 / 記念式典の企画立案

他に、記念式典実施委員会（松田晃一）は、平成21年度以降に始動。

2. 総務

2.1 総務財務運営委員会

/ 土井美和子、後藤厚宏、吉野松樹、芝田 晃、守安 隆

委員は6月以降の構成を掲載（以下、同）

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成20年5月26日	1. 通常総会関連事項、監査報告書、20年度理事担務 2. 公益法人改革対応スケジュール	承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告
平成20年6月19日	1. アドバイザリー・ボードの運営体制 2. 公益法人改革への対応	承認 理事会へ提案 定款改訂および申請作業継続
平成20年7月17日	1. 内部統制に関する対応状況 2. 会長からの検討依頼：新規会員の勧誘等	確認 理事会・公認会計士へ報告 継続検討
平成20年8月27日	1. 中国支部からの要望：学生会費の半期請求制度 2. 公益法人改革対応：定款改定案、申請書類等	承認 支部長会議で回答 承認 理事会へ提案
平成20年9月17日	1. 学生会員への支援充実と賛助会員のメリット拡大 2. 事務局長の任期と次期事務局長の採用方法 3. 公益法人改革への最終対応	承認 理事会へ提案 承認 会長確認後、理事会へ提案 承認 会長確認後、理事会へ提案
平成20年10月14日	1. 一般社団法人への移行に関わる臨時総会の招集と対応 2. 21年以降の図書館購読の扱い等	確認 理事会へ提案 承認 刊行物オンライン委員会へ回答
平成20年11月18日	1. 21年度事業計画概要、20年度事業進捗状況 2. 21年度役員候補者選考投票結果と立候補依頼順位	確認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案
平成20年12月15日	1. 一般社団法人への移行に伴う臨時総会、役員検討会の進行 2. 20年度役員・代表会員候補者立候補状況	確認 確認 理事会へ提案
平成21年1月15日	1. 一般社団法人への移行後の理事会等運営に関わる具体的手順 2. 21年度事業計画・予算（1次案）/ 20年度進捗 / 19年度監事意見対応	承認 理事会へ提案 確認 理事会へ提案
平成21年3月16日	1. 21年度事業計画・予算 / 20年度事業報告・決算見込み 2. 第53回通常総会次第	確認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案

2.2 支部長会議

/ 佐々木元、土井美和子、喜連川優、後藤厚宏、吉野松樹、芝田 晃、守安 隆
各支部長：鈴木恵二（北海道）、亀山充隆（東北）、岩田 彰（東海）、広瀬貞樹（北陸）、田中克己（関西）、田中章司郎（中国）、菊地時夫（四国）、尾家祐二（九州）

[平成20年9月3日、12月22日（役員検討会）] 本部-支部の意見交換

2.3 ITプロフェッショナル委員会

旭 寛治、青山幹雄、大岩 元、寛 捷彦、掛下哲郎、芝田 晃、玉置政一、土井美和子、中田登志之、福田 晃、吉野松樹

[電子メールベース] 情報セキュリティに関する諸対応。

2.3.1 高度IT人材資格検討WG

旭 寛治、寛 捷彦、掛下哲郎、芝田 晃、玉置政一

[平成20年4月17日、5月20日、6月23日、9月8日、10月6日、10月29日、11月25日、平成21年1月16日、2月20日]

本会における高度IT人材資格制度の在り方に関する検討

2.3.2 アドバイザリーボード

石原邦夫、大西弘致、國井秀子、椎橋章夫、天良和男、永野和男、村上輝康

[平成20年9月12日、平成21年2月5日]

第三者的な見地から情報処理学会の在り方を検討・提言

2.3.2.1 アドバイザリーボード：ビジョンWG

/ 土井美和子、/ 中田登志之、小島啓二、芝田 晃、武田浩一、守安 隆、吉野松樹、外所和博、西野文人、平田圭二、牧野 司、宮内幸司

[平成20年9月1日、9月30日、10月16日、11月12日、11月25日、12月11日、平成21年1月7日、1月19日、3月5日]

本会の現状・問題点・アクションプラン等の分析・報告に基づく2.3.2項の提言の取り纏め

2.4 電子化委員会

/ 後藤厚宏、 / 芝田 晃、 柴山悦哉、 田中二郎、 西田豊明、 星 徹、 松原 仁、 吉野松樹

[電子メールベース]

学会マネジメントシステムの機能強化・ユーザビリティの改善ほか、各事業のシステム開発管理。

2.4.1 セキュリティ委員会

村山優子、大谷和子、岡本栄司、菊池浩明、後藤厚宏、佐々木良一、芝田 晃、寺田真敏、鳥居 悟、丸山 宏

[電子メールベース]

情報セキュリティに関する諸対応。

2.5 学生会員育成委員会

益田隆司、小橋喜嗣、土井美和子、後藤厚宏、芝田 晃、高橋 修、守安 隆、吉野松樹

[電子メールベース]

各支部・各研究会への学生会員勧誘の協力依頼 / 正会員への移行状況の把握 / IPSJ論文船井若手奨励賞の候補者推薦

3. 調査研究活動

3.1 調査研究運営委員会

/ 喜連川優、高橋 修、萩谷昌己、星 徹、池内克史、石田 亨、岡田謙一、坂井修一、佐藤三久、柴山悦哉、中島 浩、橋田浩一

開催年月日	主な議事事項	会議結果	
平成20年7月3日	1. 50年史への執筆 2. 次世代ハンドブック編纂	承認 確認	各研究会へ依頼 ハンドブック編纂委員会へ検討依頼
平成20年10月20日	1. 平成21年度研究会登録費等の算定方法 / 研究会等の継続 2. 研究報告のオンライン化	承認 確認	理事会へ提案 刊行物オンライン化委員会へ報告
平成21年3月16日	1. 研究グループの活動基準 2. 50年史 / 次世代ハンドブック 3. 登録会員メーリングリスト作成	承認 確認 確認	各領域で検討 電子化委員会へ検討依頼

3.2 コンピュータサイエンス領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

中島 浩、佐藤三久、高橋 修、北 栄輔、木村晋二、角谷和俊、中村 宏、並木美太郎、羽生田栄一、平山雅之、藤田 聡、朴 泰祐、前田敦司

平成20年7月16日	領域共通-1. 50年史への執筆 領域共通-3. 電子情報通信学会との共催	承認	テーマと執筆者を事務局に報告 検討状況確認
平成20年10月3日	領域共通-1. 研究会の継続 領域共通-2. 平成21年度研究会登録費 領域共通-3. 研究報告のオンライン化	承認 承認 / 確認 確認	調査研究運営委員会へ提案 調査研究運営委員会へ意見報告
平成21年3月2日	領域共通-1. 20年度活動状況 / 21年度計画 領域共通-2. 50年史 / 次世代ハンドブック 領域共通-3. オンライン研究発表会	確認 承認 / 確認 承認 / 確認	

3.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

/ 星 徹、岡田謙一、相原玲二、大場みち子、甲藤二郎、岸田和明、木下俊之、串田高幸、辻 秀一、寺田真敏、戸辺義人、中小路久美代、堀内浩規、宗森 純、山口 泰、渡辺 尚

[平成20年7月15日、10月7日、平成21年3月3日]

いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

3.4 フロンティア領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

橋田浩一、池内克史、萩谷昌己、阿久津達也、飯田弘之、稲見昌彦、亀山 涉、河原達也、後藤真孝、鈴木卓治、出口光一郎、中川裕志、中森眞理雄、長尾 確

[平成20年7月9日、10月7日、平成21年2月27日]

いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

3.5 トランザクション編集会議

/ 萩谷昌己、前田敦司 (PRO)、伊藤 実 (TOM)、佐藤哲司 (TOD)、角谷和俊 (TOD)、吉岡真治 (TOD)、八木康史 (CVIM)、朴 泰祐 (ACS)、阿久津達也 (TBIO)、小野寺秀俊 (T-SLDM)、横矢直和 (CVA)

[電子メールベース] 新規トランザクション編集委員会の設置 学会論文誌運営委員会へ提案。

4. 教育活動

4.1 情報処理教育委員会 (教育賞選定委員会を兼ねる) (傘下の委員会は掲載略)

笥 捷彦、角田博保、佐渡一広、福田 晃、小島啓二、阿草清滋、有澤 誠、市川照久、牛島和夫、大岩 元、神沼靖子、川合 慧、河村一樹、久野 靖、黒川恒雄、駒谷昇一、佐々木良一、武井恵雄、竹井大輔、辰己丈夫、富樫 敦、都倉信樹、富田悦次、中森眞理雄、西田知博、疋田輝雄、堀内征治、本位田真一、宮川裕之、望月徹英、山本昌弘、弓場敏嗣

[平成20年4月14日、5月19日、6月16日、7月14日、9月12日、11月20日、12月17日、平成21年2月3日、3月12日]

情報教育に関する提言提案 / JABEE対応 / J07の策定 / 文科省 先導的大学の改革推進事業受託対応 / 傘下の小委員会報告ほか

5. 事業活動

5.1 事業推進委員会

/ 田中二郎、 / 山本里枝子、後藤厚宏、芝田 晃、吉野松樹、守安 隆、徳田英幸、中田登志之、松原 仁、星 徹

[平成20年10月24日、ほか電子メールベース] 各イベント開催の進捗状況管理 / 20年度連続セミナー等の企画運営ほか。

5.2 第71回 (平成21年春) 全国大会プログラム委員会

/ 松原 仁、山下洋一、田中二郎、山本里枝子、大西 淳、坂本直志、坂田祐司、青柳 隆、山田一郎、屋代聡吉、岡 克成、近藤正章、大内一成、遠里由佳子、西山 智、伊藤毅志、野田五十樹

[平成20年5月9日、7月22日] 第71回大会の開催に関する検討実施およびプログラム編成。

5.3 第72回 (平成22年春) 全国大会組織委員会 1.1.3項「記念全国大会」に同じ

5.4 FIT推進委員会 (実行委員会・プログラム委員会は掲載略)

/ 喜連川優、末永康仁、田中二郎、山本里枝子、星 徹、高橋 修、大和淳司、亀井 俊、男谷聖一、片桐雅二、深山 篤、木戸出正継、阿草清滋、畑岡信夫、本位田真一

[平成20年6月2日、10月16日] FITの運営推進に関する検討対応。

5.5 プログラミング・シンポジウム幹事会

多田好克、小出 洋、副田俊介、中村嘉志、前田敦司、丸山一貴、山口文彦

[電子メールベース] 夏のプロシン / 若手の会 / プロシンの開催に関する検討実施。

6. 技術応用活動

6.1 技術応用運営委員会 (ソフトウェアジャパン実行委員会は掲載略)

/ 徳田英幸、松井くにお、青山幹雄、西野文人、長谷川亨、後藤厚宏、柴山悦哉、吉野松樹

[平成20年4月22日、6月10日、7月22日、9月11日、10月6日、10月31日]

ITフォーラムの活性化に向けた検討対応 / ソフトウェアジャパンの開催ほか。

7. 機関誌 / 出版活動

7.1 会誌編集委員会

川合 慧、 / 武田浩一、 / 松原 仁、青柳 隆、石田 亨、位野木万里、兼宗 進、熊谷誠治、久門耕一、胡 振江、佐伯元司、坂田祐司、坂本直志、白井良成、白木善尚、田中哲朗、田中秀樹、長谷川亨、前田英作、間瀬久雄、山崎竹視、山田一郎、山之内徹、山本里枝子

[平成20年4月14日、5月12日、6月9日、7月14日、9月9日、10月14日、11月12日、12月17日、平成21年1月16日、2月9日、3月9日]

全回共通：会誌の編集に関する検討実施。

7.2 学会論文誌運営委員会（平成19年度から設置）

/ 喜連川優、柴山悦哉、高橋 修、田中 譲、萩谷昌己、星 徹

[平成20年7月25日、9月2日、ほか電子メールベース]

50周年記念論文 / 編集規程の英訳、ほか。

7.2.1 論文誌ジャーナル編集委員会（幹事会）

/ 柴山悦哉、 / 田中 譲、明石 修、荒木拓也、亀田能成、田中哲朗、平賀瑠美、藤田 茂、満保雅浩、山崎浩一

[平成20年4月8日、5月8日、6月3日、7月1日、9月10日、10月7日、11月5日、12月5日、平成21年1月7日、2月3日、3月6日]

全回共通：論文誌ジャーナルの編集に関する検討実施。

7.2.2 論文誌トランザクション編集委員会（詳細略）

各編集委員長は3.5トランザクション編集会議を参照。

7.2.3 IPSJ Digital Courier編集委員会（詳細略）

委員は6.2.1ジャーナル編集委員会幹事会メンバおよび3.5の各トランザクション編集委員長を参照。

7.3 出版委員会

/ 松原 仁、 / 武田浩一

[電子メールベース] 出版関連契約ほか。

7.3.1 英文図書出版委員会

近山 隆、江崎 浩、井上智雄、奥乃 博、河原達也、喜連川優、滝沢 誠、藤田友之、*原田 誠

[電子メールベース] 英文図書の発行に関する検討実施。

7.3.2 教科書委員会

松下 温、阪田史郎、伊藤 潔、井戸上彰、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、曾根原登、西田豊明、本位田真一

[平成20年5月9日、12月25日] 教科書シリーズの発行に関する検討実施。

7.4 歴史特別委員会（傘下の小委員会は掲載略）

発田 弘、松永俊雄、旭 寛治、鶴飼直哉、浦城恒雄、坂井修一、前島正裕、山田昭彦、和田英一、*宇田 理

[平成20年4月18日、6月19日、8月28日、9月25日、10月27日、11月20日、平成21年1月19日、2月12日]

オーラルヒストリー、コンピュータ博物館、卓越技術DB、「コンピュータの歴史」の推進 / IT遺産・分散実博物館の企画提案。

7.5 著作権委員会

/ 松原 仁、 / 武田浩一、天野真家、大谷和子、後藤厚宏、柴山悦哉、杉本重雄、長谷川亨、平田圭二、星 徹、丸山 宏

[平成20年5月13日、ほか電子メールベース] 共催会議の著作権の扱い対応ほか。

8. 標準化活動

8.1 情報規格調査会（規格役員会）

石崎 俊、大蒔和仁、木戸彰夫、櫻井義人、鈴木俊宏、関口正裕、成井良久、平野芳行、村上篤道、守安 隆、山室雅司、山本 泰、百合野真司

[平成20年4月14日、5月12日、6月16日、7月7日、9月8日、10月20日、11月25日、12月15日、平成21年1月19日、2月16日、3月16日]

全回共通：規格賛助員の入退会等 / 委員会関連変更 / 国際会議派遣・招致 / 月次決算。

その他、JTC1奈良総会対応 / 標準化関連受託契約ほか。

9. 国際活動

9.1 国際業務委員会

/ 西田豊明、 / 堀内浩規、山田昭彦、齊藤忠夫、向山 博

[電子メールベース] 国際会議の申請・終了報告の確認ほか。

9.2 IFIP委員会

/ 喜連川優、齊藤忠夫（IFIP日本代表）、 / 西田豊明、 / 堀内浩規、伊藤貴康、小林直樹、萩谷昌己、大岩 元、木村文彦、亀田壽夫、内木哲也、松本恒雄、南谷 崇、村山優子、佐々木良一、黒須正明、中津良平、田島譲二、樋口和雄、
発田 弘、武田 裕

[平成20年10月27日] IFIP年次総会報告 / 各TCの活動報告ほか。
--

10. その他委員会：委員は以下のサイトを参照

<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/meibo/index.html>

付2．研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[研究会等の詳細]

研究会等の名称 (() 内：英略称、*：研究グループ)	主査名 (運営委員数)	登録者数
[コンピュータサイエンス領域]		
データベースシステム (DBS)	角谷和俊 (55)	581
ソフトウェア工学 (SE)	羽生田栄一 (50)	604
計算機アーキテクチャ (ARC)	中村 宏 (36)	484
システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS)	並木美太郎 (33)	421
システムLSI設計技術 (SLDM)	木村晋二 (37)	353
ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)	朴 泰祐 (46)	558
プログラミング (PRO)	西崎真也 (24)	426
アルゴリズム (AL)	藤田 聡 (31)	302
数理モデル化と問題解決 (MPS)	北 栄輔 (31)	400
組込みシステム (EMB)	平山雅之 (33)	344
[情報環境領域]		
マルチメディア通信と分散処理 (DPS)	串田高幸 (47)	452
ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)	中小路久美代 (37)	605
グラフィクスとCAD (CG)	山口 泰 (30)	385
情報システムと社会環境 (IS)	辻 秀一 (22)	276
情報学基礎 (FI)	岸田和明 (21)	257
オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM)	甲藤二郎 (15)	169
グループウェアとネットワークサービス (GN)	宗森 純 (33)	370
デジタルドキュメント (DD)	大場みち子 (15)	221
モバイルコンピューティングとユビキタス通信 (MBL)	渡辺 尚 (44)	446
コンピュータセキュリティ (CSEC)	寺田真敏 (35)	550
高度交通システム (ITS)	堀内浩規 (23)	237
システム評価 (EVA)	木下俊之 (19)	143
ユビキタスコンピューティング (UBI)	戸辺義人 (31)	361
インターネットと運用技術 (IOT)	相原玲二 (40)	470
*放送コンピューティング (BCC)	岡田謙一 (---)	---
*情報セキュリティ心理学とトラスト (SPT)	内田勝也 (---)	---
[フロントティア領域]		
自然言語処理 (NL)	中川裕志 (23)	633
知能と複雑系 (ICS)	長尾 確 (22)	395
コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)	出口光一郎 (65)	663
コンピュータと教育 (CE)	中森真理雄 (34)	615
人文科学とコンピュータ (CH)	鈴木卓治 (27)	302
音楽情報科学 (MUS)	後藤真孝 (31)	425
音声言語情報処理 (SLP)	河原達也 (29)	325
電子化知的財産・社会基盤 (EIP)	亀山 涉 (18)	188
ゲーム情報学 (GI)	飯田弘之 (20)	293
エンタテインメントコンピューティング (EC)	稲見昌彦 (21)	181
バイオ情報学 (BIO)	阿久津達也 (14)	166
*ネットワーク生態学 (NE)	林 幸雄 (---)	---
[調査研究運営委員会]		
*教育学習支援情報システム (CMS)	美濃導彦 (---)	---

1. 研究発表会（調査研究活動分）

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回数	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体
第145回	平成20年6月19日～20日	小樽市民会館	15	59	
第146回	平成20年9月21日～23日	飯坂ホテル	59	84	電子情報通信学会

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第160回	平成20年6月19日～20日	化学会館	19	47	
第161回	平成20年9月26日	岡山県立大学	12	15	
第162回	平成20年11月19日	化学会館	10	26	
第163回	平成21年3月18日～19日	化学会館	40	85	

1.1.3 計算機アーキテクチャ研究発表会

第170回	平成20年5月13日～14日	日立中央研究所	21	68	電子情報通信学会
第171回	平成20年8月5日～7日	アバンセ	32	127	
第172回	平成20年10月19日～21日	二日市温泉大観荘	15	58	
第173回	平成21年1月13日～14日	松心会館	21	21	電子情報通信学会
第174回	平成21年2月26日～28日	北海道大学	31	41	

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第108回	平成20年4月23日～24日	那覇市IT創造館	26	49	
第109回	平成20年8月6日～7日	アバンセ	18	70	
第110回	平成21年1月28日～29日	蒲郡情報センター	15	30	

1.1.5 システムLSI設計技術研究発表会

第135回	平成20年5月8日～9日	神戸大学	13	25	電子情報通信学会
第136回	平成20年10月6日～7日	いわて県民情報交流センター	17	8	電子情報通信学会
第137回	平成20年11月17日～18日	北九州学術研究都市	31	27	電子情報通信学会
第138回	平成21年1月29日～30日	慶應義塾大学	35	19	電子情報通信学会
第139回	平成21年3月5日～6日	佐渡島開発総合センター	16	8	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第115回	平成20年5月20日	NEC本社	8	45	
第116回	平成20年8月5日～7日	アバンセ	40	131	
第117回	平成20年10月15日	富士通本社	9	49	
第118回	平成20年12月16日～17日	九州大学	22	42	
第119回	平成21年2月26日～28日	北海道大学	31	88	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第69回	平成20年5月22日～23日	東京工業大学	7	48	
第70回	平成20年8月6日	アバンセ	8	26	
第71回	平成20年10月28日～29日	松江テルサ	17	37	
第72回	平成21年1月26日～27日	愛知工業大学	8	38	
第73回	平成21年3月16日～17日	東京大学	7	49	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第118回	平成20年5月27日	東京農工大学	10	25	
第119回	平成20年9月12日	名古屋工業大学	13	32	
第120回	平成20年11月7日	大阪大学	8	24	
第121回	平成20年12月3日	群馬大学	8	8	
第122回	平成21年1月30日	NTT CS研究所	11	27	
第123回	平成21年3月5日	小樽商科大学	9	23	

1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第69回	平成20年5月16日	京大会館	11	18	
第70回	平成20年7月14日	モンテカルロリゾート	10	12	
第71回	平成20年9月18日～19日	電気通信大学	25	51	
第72回	平成20年12月17日～18日	大阪大学	48	53	
第73回	平成21年3月5日～6日	恩納村	58	87	

1.1.10 組込みシステム研究発表会

第9回	平成20年6月19日～20日	化学会館	19	33	
第10回	平成20年11月27日～28日	キャンパスプラザ京都	16	35	
第11回	平成21年1月13日～14日	松心会館	21	14	電子情報通信学会
第12回	平成21年3月5日～6日	佐渡島開発総合センター	16	9	電子情報通信学会

1.2 情報環境領域

1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第135回	平成20年6月19日～20日	会津大学	29	31	
第136回	平成20年9月25日～26日	高知県立県民文化ホール	22	30	
第137回	平成20年11月27日～28日	東邦大学	17	41	
第138回	平成21年3月5日～6日	東海大学	56	94	

1.2.2 ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会

第128回	平成20年5月28日～29日	臨床研究情報センター	29	121	
第129回	平成20年8月7日～8日	サンシャイン志賀	9	33	
第130回	平成20年11月6日～7日	秋葉原ダイビル	21	42	ヒューマンインタフェース学会 日本バーチャルリアリティ学会
第131回	平成21年1月26日～27日	湯布院公民館	15	31	
第132回	平成21年3月13日	明治大学	22	73	

1.2.3 グラフィクスとCAD研究発表会

第131回	平成20年7月7日～8日	東京大学	7	15	
第132回	平成20年8月22日～23日	小樽朝里クラッセホテル	17	29	
第133回	平成20年11月7日～8日	九州工業大学	21	44	
第134回	平成21年2月16日～17日	NHK	32	80	画像情報教育振興協会

1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第104回	平成20年6月2日	情報サービス産業協会協会	5	20	
第105回	平成20年8月28日	室蘭工業大学	12	22	
第106回	平成20年12月2日	産業技術大学院大学	6	21	
第107回	平成21年3月18日～19日	専修大学	26	56	

1.2.5 情報学基礎研究発表会

第91回	平成20年6月19日～20日	小樽市民会館	15	30	
第92回	平成20年11月6日	筑波大学	6	17	
第93回	平成21年1月22日～23日	お茶の水女子大学	19	38	
第94回	平成21年3月25日	白百合女子大学	10	25	

1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第61回	平成20年7月23日～24日	芝浦工業大学	17	11	電子情報通信学会
第62回	平成20年9月25日～26日	九州工業大学	18	10	電子情報通信学会
第63回	平成20年12月11日～12日	北海道大学	18	12	電子情報通信学会
第64回	平成21年3月5日～6日	沖縄セルラー電話	11	15	

1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第68回	平成20年5月23日	千葉大学	16	36	電子情報通信学会
第69回	平成20年9月25日～26日	高知県立県民文化ホール	22	29	
第70回	平成21年1月22日～23日	屋久島	27	37	
第71回	平成21年3月18日～19日	神奈川工科大学	28	60	

1.2.8 デジタルドキュメント研究発表会

第66回	平成20年6月6日	日立製作所	7	19	
第67回	平成20年7月24日～25日	北海道大学	12	13	電子情報通信学会
第68回	平成20年9月26日	日立製作所	7	22	
第69回	平成20年11月27日～28日	琉球大学	17	19	電子情報通信学会
第70回	平成21年3月25日	白百合女子大学	10	24	

1.2.9 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会

第45回	平成20年5月22日～23日	沖縄県青年会館	25	27	電子情報通信学会
第46回	平成21年9月25日	東京理科大学	11	33	
第47回	平成20年11月6日～7日	高知工科大学	18	33	
第48回	平成21年1月29日～30日	はこだて未来大学	18	39	

1.2.10 コンピュータセキュリティ研究発表会

第41回	平成20年5月22日～23日	情報セキュリティ大学院大学	20	101	
第42回	平成20年7月24日～25日	福岡システムLSI	47	72	電子情報通信学会
第43回	平成20年12月5日	NEC	10	43	
第44回	平成21年3月5日～6日	東海大学	56	106	

1.2.11 高度交通システム研究発表会

第33回	平成20年6月20日	早稲田大学	8	48	
第34回	平成20年9月10日～11日	埼玉大学	7	13	電子情報通信学会
第35回	平成20年11月6日～7日	高知工科大学	18	29	
第36回	平成21年3月5日～6日	東北大学	12	24	

1.2.12 システム評価研究発表会

第25回	平成20年6月27日	東海大学	4	13	
第26回	平成20年8月6日	アバンセ	3	9	
第27回	平成20年12月1日	長崎大学	4	10	
第28回	平成21年3月16日	九州大学	3	10	

1.2.13 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第18回	平成20年5月15日～16日	小樽商科大学	14	26	
第19回	平成20年7月17日～18日	東京電機大学	27	76	電子情報通信学会
第20回	平成20年11月13日	臨床研究情報センター	12	44	
第21回	平成21年3月4日	慶應義塾大学 / 神戸大学	14	48	

1.2.14 インターネットと運用技術研究発表会

第1回	平成20年5月8日～9日	鹿児島県県民交流センター	23	45	電子情報通信学会
第2回	平成20年7月24日～25日	田沢湖芸術村	13	43	
第3回	平成20年9月19日	国立情報学研究所	11	51	
第4回	平成21年3月5日～6日	アソシエート	53	70	電子情報通信学会

1.3 フロンティア領域

1.3.1 自然言語処理研究発表会

第185回	平成20年5月22日～23日	横浜国立大学	14	66	
第186回	平成20年7月17日～18日	はこだて未来大学	18	40	電子情報通信学会
第187回	平成20年9月24日～25日	熱海金城館	16	46	
第188回	平成20年11月26日～27日	九州大学	17	43	
第189回	平成21年1月22日～23日	お茶の水女子大学	19	72	
第190回	平成21年3月25日～26日	東京大学	18	58	

1.3.2 知能と複雑系研究発表会

第152回	平成20年7月2日～3日	国立情報学研究所	5	6	
第153回	平成20年10月30日	大津プリンスホテル	10	10	
第154回	平成21年3月2日～4日	ラフォーレ蔵王リゾート	25	15	電子情報通信学会
第155回	平成21年3月20日～21日	はこだて未来大学	6	9	

1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第163回	平成20年5月8日～9日	京都大学	34	101	
第164回	平成20年9月5日～6日	慶應大学	42	88	電子情報通信学会
第165回	平成21年11月27日～28日	大阪大学	36	93	電子情報通信学会
第166回	平成21年3月13日～14日	東北工業大学	49	36	電子情報通信学会

1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第94回	平成20年5月17日	京都情報大学院大学	11	51	
第95回	平成20年7月12日	北海道大学	14	45	
第96回	平成20年10月25日	日本文理大学	7	8	
第97回	平成20年12月20日	金城学院大学	12	47	
第98回	平成21年2月27日～28日	電気通信大学	30	121	

1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第78回	平成20年5月23日	立命館大学	12	43	
第79回	平成20年7月25日	県立金沢文庫	9	39	
第80回	平成20年10月18日	たざわこ芸術村	8	23	
第81回	平成21年1月23日	キャンパスプラザ京都	8	38	

1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第75回	平成20年5月28日～29日	臨床研究情報センター	29	138	
第76回	平成20年8月6日～8日	名古屋大学	30	119	
第77回	平成20年9月22日	同志社大学	11	55	
第78回	平成20年12月19日～20日	龍谷大学	17	44	
第79回	平成21年2月18日～19日	産業技術総合研究所	13	95	

1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第71回	平成20年5月22日～23日	横浜国立大学	14	55	
第72回	平成20年7月18日～19日	盛岡つなぎ温泉	20	51	
第73回	平成20年10月24日	東京工業大学	11	68	
第74回	平成20年12月9日～10日	早稲田大学	48	89	電子情報通信学会
第75回	平成21年2月6日～7日	湯沢東映ホテル	14	44	

1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第40回	平成20年5月30日	宇都宮大学	9	9	電子情報通信学会
第41回	平成20年9月25日～26日	高知県立県民文化ホール	22	20	
第42回	平成20年11月29日～30日	同志社大学	19	27	

第43回	平成21年2月13日	敬和学園大	12	24	
------	------------	-------	----	----	--

1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第20回	平成20年6月27日	北陸先端科学技術大学院大	8	17	
第21回	平成21年3月9日	大阪商業大学	17	35	

1.3.10 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第10回	平成20年7月5日	美国観光ハウス	9	6	
第11回	平成20年12月20日	筑波大学	15	33	
第12回	平成21年3月7日～8日	京都工芸繊維大学	13	38	

1.3.11 バイオ情報学研究発表会

第13回	平成20年6月26日～27日	琉球大学	16	25	電子情報通信学会
第14回	平成20年9月18日～19日	北海道大学	13	27	
第15回	平成20年12月17日～18日	大阪大学	48	43	
第16回	平成21年3月5日～6日	中央大学	11	25	

2. シンポジウム等

2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2008	平成20年6月11日～13日	つくば国際会議場	72	250	
マルチメディア,分散,協調とモバイル (DICOM02008)シンポジウム	平成20年7月9日～11日	定山溪ビューホテル	273	427	
HCIプロフェッショナルワークショップ13	平成20年8月7日～8日	サンシャイン志賀		30	
情報教育シンポジウム2008	平成20年8月19日～21日	済州大学校 / 済州オリエンタルホテル	41	75	
ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2008	平成20年9月1日～3日	東洋大学	28	137	
MUSチュートリアル	平成20年8月6日	名古屋大学	1	88	
DAシンポジウム2008	平成20年8月26日～27日	遠鉄エンバイヤホテル	46	143	
組込みシステムシンポジウム2008	平成20年10月29日～31日	国立オリンピック記念青少年センター	32	205	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	平成20年12月10日～12日	萩本陣	58	92	
コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2008)	平成20年10月8日～10日	沖縄コンベンションセンター	136	327	
グループウェアとネットワークサービスワークショップ2008	平成20年11月6日～7日	勝浦ホテル三日月	24	36	
ゲームプログラミングワークショップ2008	平成20年11月7日～9日	箱根セミナーハウス	34	86	
ウェアラブルコンピューティングシンポジウム (WCS2008)	平成20年11月14日	ホテルオークラ神戸	7	89	
インターネットと運用技術シンポジウム	平成20年12月4日～5日	京都市国際交流会館	21	115	
コンピュータシステム・シンポジウム	平成20年11月12日～13日	キャンパス・イノベーションセンター東京	20	82	
WebDBフォーラム2008	平成20年12月1日～2日	学習院大学	88	362	
人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2008」	平成20年12月20日～21日	筑波大学	55	174	
高度交通システム2009シンポジウム	平成21年1月16日	日本科学未来館	7	58	
2009年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2009)	平成21年1月22日～23日	東京大学	44	149	
ISチュートリアル	平成20年10月31日	日本情報システム・ユーザー協会	4	41	
ウインターワークショップ2009・イン・宮崎	平成21年1月23日～24日	宮崎市民プラザ / 宮崎観光ホテル	43	45	
インタラクシオン2009	平成21年3月5日～6日	学術総合センター / 一橋記念講堂	132	631	

2.2 教育活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
JABEE情報および情報関連分野審査講習会および技術者教育セミナー	平成20年8月5日(～6日)	化学会館会議室	13	42	注1
高校教科「情報」シンポジウム in 九州	平成20年10月26日	西日本総合展示場	6	46	注2
情報システム教育コンテスト	平成21年3月7日	青山学院大学 青山キャンパス	---	---	注3
高校教科「情報」シンポジウム2009春・ジョーシン09春	平成21年3月14日	早稲田大学 大久保キャンパス	4	87	注4

注1) 電気学会, 電子情報通信学会, 理工系情報学科協議会

注2) 情報処理学会 (コンピュータと教育研究会, 九州支部), 日本情報科教育学会

後援: 文部科学省, 福岡県教育委員会, 北九州市教育委員会, 山口県教育委員会, 佐賀県教育委員会, 九州情報通信連携推進協議会(KIAI)

注3) 情報処理学会 (システムと社会環境研究会)

協賛: 経営情報学会, 情報システム学会, 日本情報経営学会, 日本情報システム・ユーザ協会, 情報サービス産業協会

注4) 情報処理学会 (ア kredィテーション委員会, 一般情報処理教育委員会, 高専教育委員会, コンピュータ科学教育委員会 情報システム教育委員会,

ソフトウェアエンジニアリング委員会, インフォメーションテクノロジー教育委員会, コンピュータエンジニアリング教育委員会, コンピュータと教育研究会)

後援: 文部科学省, 東京都教育委員会, 神奈川県教育委員会, 埼玉県教育委員会, 千葉県教育委員会, 群馬県教育委員会, 栃木県教育委員会, 茨城県教育委員会

協賛: 教育システム情報学会, 日本情報科教育学会, 日本教育工学会, 協力: 早稲田大学

3. 事業活動

3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第71回全国大会	平成21年3月10日～12日	立命館大学	1,203	3	2,270

3.2 FIT (情報科学技術フォーラム)

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム	平成20年9月2日～4日	慶應義塾大学	670	1	1,455

共催：電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）

3.3 連続セミナー2008：テーマ「インターネットの進化 - これまでの20年と今後の発展を考える - 」

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
インターネットの発展とWIDEプロジェクトの役割	平成20年6月23日	化学会館	6	57
IPv6のある世界	平成20年7月23日	東京電機大学	5	68
Mobile & Wireless	平成20年9月19日	東京電機大学	6	72
実世界とインターネット	平成20年10月15日	東京電機大学	5	64
インターネットオペレーション	平成20年11月27日	東京電機大学	5	58
インターネットとコンテンツ流通	平成20年12月9日	東京電機大学	5	66

後援：情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザ協会、電子情報技術産業協会、情報処理推進機構、東京電機大学未来科学部

3.4 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム2008	平成20年9月6日～8日	湯沢ニューオータニホテル	16	35
第41回情報科学若手の会	平成20年9月20日～22日	東富士リサーチハウス	6	26
第50回プログラミング・シンポジウム	平成21年1月13日～15日	箱根ホテル小涌園	25	99

4. 技術応用活動

4.1 個別ITフォーラム（8件）

名称	代表者名
ITアーキテクト・CIO	榊原 彰
サービスサイエンス	諏訪良武
ユーザスタディ	田村 大
Web2.0	栗原 潔
イノベティブ社会基盤	神成淳司
福祉情報システム	菟川友宏
ITダイバーシティ	安信千津子
高度IT人材育成フォーラム	掛下哲郎

4.2 ITフォーラム関連のイベント

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
ソフトウェアジャパン2009 ITのパラダイムシフト-クラウドで何が変わるか-	平成21年1月27日	大手町サンケイプラザ	5	666	注1, 注2

注1) 協賛：日本情報システム・ユーザ協会、情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、電子情報通信学会、XMLコンソーシアム、

日本ソフトウェア科学会、情報処理推進機構、後援：文部科学省、経済産業省、総務省

注2) 5件の招待講演のほかパネル討論、7件のITフォーラムセッションとIPAセミナーを開催

付3．刊行物（機関誌・図書）一覧

1．会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	記事数	本文頁数	広告頁数
平成20年4月15日	49	4	21,100	要求工学 / 情報処理で社会を守る	20	146	6
平成20年5月15日	49	5	21,300	フォーマルメソッドの新潮流	16	108	8
平成20年6月15日	49	6	21,250	多言語自動通訳技術の実現に向けて / 研究会推薦博士論文速報	47	120	6
平成20年7月15日	49	7	21,380	情報専門学科カリキュラム標準J07	37	160	6
平成20年8月15日	49	8	21,530	情報爆発時代におけるわくわくするITの創出を目指して / コンピュータ将棋は止まらない	24	148	6
平成20年9月15日	49	9	20,250	eラーニングの広がり と 連携	12	96	8
平成20年10月15日	49	10	20,600	オープンリサーチ型次世代ネットワーク技術への挑戦 - National Project JGN2 4年間のFact Sheets -	17	106	6
平成20年11月15日	49	11	20,420	学と産の連携による基盤ソフトウェアの先進的開発 / IPTVの現在と展望	20	132	8
平成20年12月15日	49	12	20,800	マルチコアを活かすお手軽並列プログラミング / ソーシャルブックマークは進化し続ける！	21	136	6
平成21年1月15日	50	1	21,150	視覚情報の処理と利用	12	92	6
平成21年2月15日	50	2	21,250	アクセラレータ, 再び-スパコン化の切り札-	12	92	6
平成21年3月15日	50	3	21,400	セキュリティ要求工学の実効性	10	92	6

2．「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

20年4月よりオンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				論文数	テクニカルノート数	本文頁数
平成20年4月15日	49	4	イノベーションプロセスのスタディ	18	0	189
平成20年5月15日	49	5	---	5	0	58
平成20年6月15日	49	6	ユビキタスコンピューティングシステム / ディペンダブル情報処理	42	1	507
平成20年7月15日	49	7	ソフトウェア工学の効果と価値 / 21世紀の情報環境	39	3	484
平成20年8月15日	49	8	産学連携論文	17	2	201
平成20年9月15日	49	9	安心・安全な社会基盤を実現するコンピュータセキュリティ技術	35	0	398
平成20年10月15日	49	10	情報教育～理論・実践・効果～ / 組込みシステム工学 / メディアインタラクション研究の発展(テクニカルノート)	28	5	375
平成20年11月15日	49	11	---	8	1	95
平成20年12月15日	49	12	メディアインタラクション研究の発展	25	4	601
平成21年1月15日	50	1	日常生活におけるコラボレーション支援技術	38	1	446
平成21年2月15日	50	2	音声ドキュメント処理 / 組織における情報システム開発	41	0	478
平成21年3月15日	50	3	柔らかなサービスを支えるインターネット技術 / 分散システム運用・管理技術 / 音楽情報処理	25	2	299

3. 「情報処理学会論文誌（トランザクション）」（不定期）

20年4月よりオンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	トランザクション名	その他参考	
				論文数	本文頁数
平成20年6月26日	1	1	コンピューティングシステム	14	173
平成20年6月26日	1	1	プログラミング	4	65
平成20年6月26日	1	1	コンピュータビジョンとイメージメディア	8	87
平成20年6月26日	1	1	データベースシステム	9	115
平成20年7月24日	1	2	コンピュータビジョンとイメージメディア	14	162
平成20年8月21日	1	2	コンピューティングシステム	24	284
平成20年8月27日	1	-	System LSI Design Methodology	11	129
平成20年9月26日	1	2	プログラミング	8	127
平成20年9月26日	1	1	数理モデル化と応用	14	184
平成20年9月30日	1	2	データベースシステム	4	53
平成20年10月27日	1	3	プログラミング	3	36
平成20年11月20日	1	3	コンピュータビジョンとイメージメディア	2	27
平成20年11月28日	1	-	Bioinformatics	5	51
平成20年12月22日	1	3	コンピューティングシステム	11	157
平成20年12月26日	1	3	データベースシステム	8	107
平成21年1月27日	2	1	プログラミング	1	24
平成21年1月30日	1	-	Computer Vision and Applications	7	79
平成21年2月17日	2	-	System LSI Design Methodology	11	129
平成21年2月20日	2	1	数理モデル化と応用	14	155
平成21年3月23日	2	2	プログラミング	12	180
平成21年3月24日	2	-	Bioinformatics	4	45
平成21年3月25日	2	1	コンピュータビジョンとイメージメディア	6	74
平成21年3月25日	2	1	コンピューティングシステム	15	186
平成21年3月27日	2	2	数理モデル化と応用	13	144
平成21年3月31日	2	1	データベースシステム	9	115
平成21年3月31日	1	-	Computer Vision and Applications	4	44

4. その他出版（新刊）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
平成20年8月15日	英文図書 Advanced Information Technologyシリーズ 「Broadband Internet Deployment in Japan」	300	202
平成20年9月25日	IT textシリーズ 情報倫理	2,000	244
平成20年11月20日	IT textシリーズ Java/UMLによるアプリケーション開発	2,000	186
平成20年11月25日	IT textシリーズ Javaオブジェクト指向プログラミング	2,000	270

5. その他出版（重版）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

平成20年5月20日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習 1版6刷	300	228
平成20年5月20日	IT textシリーズ Linux演習 1版2刷	400	210
平成20年5月20日	IT textシリーズ 音声認識システム 1版8刷	300	216
平成20年5月20日	IT textシリーズ 情報セキュリティ 1版6刷	500	268
平成20年5月20日	IT Textシリーズ 人工知能 1版3刷	400	188
平成20年8月20日	IT textシリーズ オペレーティングシステム 1版10刷	600	230
平成20年8月20日	IT textシリーズ ソフトウェア開発 1版8刷	400	212
平成20年8月20日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション 1版8刷	400	228
平成20年8月20日	IT textシリーズ コンピュータグラフィックス 1版3刷	300	268
平成20年8月20日	IT textシリーズ コンピュータネットワーク 1版8刷	400	203

平成20年12月10日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ 1版6刷	1,000	236
平成20年12月10日	IT Textシリーズ データマイニングの基礎 1版3刷	1,200	286
平成20年12月10日	IT textシリーズ 情報と職業 1版7刷	800	222
平成20年12月10日	IT textシリーズ ソフトウェア開発 1版9刷	1,000	212
平成21年1月20日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション 1版9刷	900	228
平成21年1月20日	IT textシリーズ データベース 1版9刷	1,000	196
平成21年1月20日	IT textシリーズ オペレーティングシステム 1版11刷	1,200	230
平成21年1月20日	IT Textシリーズ(一般教育) 情報と社会 1版6刷	900	212
平成21年3月5日	IT Textシリーズ アルゴリズム論 1版7刷	1,000	230
平成21年3月5日	IT Textシリーズ(一般教育) 情報とコンピューティング 1版7刷	400	212
平成21年3月5日	IT Textシリーズ 基礎Web技術 1版6刷	700	188
平成21年3月5日	IT Textシリーズ 認知インタフェース 1版6刷	600	234
平成21年3月20日	IT Textシリーズ 人工知能 1版4刷	400	188
平成21年3月20日	IT Textシリーズ コンパイラとバーチャルマシン 1版6刷	700	212

付4 . 国際会議一覧

名称	開催年月	場所	参加数	内 海外参加	海外 共催団体
The 4th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008)	平成20年6月11日～13日	日本科学未来館	56	10	
The 2008 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2008)	平成20年7月28日～8月1日	フィンランド	156	(未報告)	IEEE-CS
4nd International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2008)	平成20年8月30日～31日	和歌山ビッグ愛	67	17	
International Workshop on Security (IWSEC2008)	平成20年11月25日～27日	かがわ国際会議場	72	10	
Asia and South Pacific Design Automation Conference 2009 (ASP-DAC2009)	平成21年1月19日～22日	パシフィコ横浜	531	190	IEEE, ACM
International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2009)	平成21年3月23日～25日	アテネ	(未報告)		IEEE-CS

付5.表彰等 *いずれも所属()内)は選定当時、掲載は順不同、敬称略

1.新名誉会員(1名) [第53回通常総会(平成21年5月)表彰][理事会(平成21年1月)]

- ・田中英彦(情報セキュリティ大学院大)

2.功績賞(3名) [第53回通常総会(平成21年5月)表彰][功績賞選定委員会(平成21年3月)]

- ・佐々木良一(東京電機大学)
- ・水野忠則(静岡大学)
- ・山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)

3.新フェロー(8名) [第71回全国大会(平成21年3月)表彰][フェロー選定委員会(平成20年12月)]

- ・旭 寛治(日立TC) 「情報システムの高度化に関する貢献」
- ・安西祐一郎(慶應義塾) 「情報科学および認知科学の分野における貢献」
- ・石崎 俊(慶大) 「情報技術分野の国際・国内の標準化推進および自然言語処理への貢献」
- ・今井 浩(東大) 「計算幾何の量子計算への展開と量子情報科学研究推進に対する貢献」
- ・木下哲男(東北大) 「エージェントシステム技術の研究開発に対する貢献」
- ・土井美和子(東芝) 「文書処理を中心としたヒューマンインタフェース技術に対する貢献」
- ・安浦寛人(九大) 「システムL S Iの設計に関する基礎理論と設計支援技術の確立」
- ・横田治夫(東工大) 「高信頼で効率的な情報蓄積とその高度活用に関する先進的研究」

4.論文賞(9件36名) [第53回通常総会(平成21年5月)表彰][論文賞選定委員会(平成21年3月)]

<情報処理学会論文賞>

- ・マウスによる仮想折り紙の対話的操作のための計算モデルとインタフェース
古田陽介(筑波大)、木本晴夫(名古屋市立大)、三谷 純、福井幸男(筑波大)
- ・遠隔存在感メディアとしてのアンドロイド・ロボットの可能性
坂本大介(はこだて未来大)、神田崇行(ATR)、小野哲雄(はこだて未来大)、石黒 浩(阪大)、萩田紀博(ATR)
- ・駒の関係を利用した将棋の評価関数の学習
金子知適、田中哲朗、山口和紀(東大)、川合 慧(放送大)
- ・プロキシを利用したHTTPリクエスト解析によるフィッシングサイト検出システムの提案
中村元彦、寺田真敏、千葉雄司、土居範久(中央大)
- ・10の10乗規模の個品追跡を可能とするトレーサビリティシステム向けID解決機構
土井裕介、若山史郎、石山政浩、尾崎 哲、井上 淳(東芝)
- ・セキュアなりも特生体認証プロトコルの提案
高橋健太、比良田真史、三村昌弘、手塚 悟(日立)
- ・アドホックネットワークにおけるクオラムシステムを用いた一貫性管理のためのトラヒック削減について
澤井陽平(野村総研)、篠原昌子、神崎映光、原 隆浩、西尾章治郎(阪大)

<情報処理学会論文誌 数理モデル化と応用 優秀論文賞>

- ・購買順序を効率的に用いた協調フィルタリング
岩田具治、山田武士、上田修功(NTT)

<情報処理学会論文誌 コンピューティングシステム 優秀論文賞>

- ・Introducing New Resource Management Policies using a Virtual Machine Monitor
Yamada Hiroshi, Kono Kenji (Keio Univ.)

5.喜安記念業績賞(2件10名、*:代表貢献者) [第53回通常総会(平成21年5月)表彰][喜安記念業績賞選定委員会(平成21年3月)]

- ・「携帯端末など組込み機器向け多言語自動音声翻訳システムの実用化技術の開発」
奥村明俊*、磯谷亮輔、山端 潔、花沢 健、渡辺隆夫(NEC)
- ・「音声ブラウザの開発とWEBアクセシビリティ技術普及への貢献」
浅川智恵子*、伊藤 隆、高木啓伸、福田健太郎(日本IBM)、前田潤治(IBM®ビジネスコンサルティングサービス)

6.長尾真記念特別賞(3名) [第53回通常総会(平成21年5月)表彰][長尾真記念特別賞選定委員会(平成21年3月)]

- ・鹿島久嗣(日本IBM) 「構造データ解析のための機械学習手法」
- ・神田崇行(ATR) 「ヒューマンロボットインタラクションに関する研究」
- ・後藤真孝(産総研) 「計算機による音楽・音声の理解とそれに基づく音インタフェースの研究」

< コンピュータサイエンス領域 >

- ・Web検索質問の自動分類と質問応答への応用 [データベースシステム] 藤井 敦(筑波大)
- ・情報フローを考慮したブラウザの計算モデル [ソフトウェア工学] 立石孝彰(日本IBM)
- ・トラクションコントロール実行: CMP 向け実行制御方式の検討 [計算機アーキテクチャ] 近藤正章(電通大)
- ・MIPS R3000プロセッサにおける細粒度動的スリープ制御の実装と評価 [計算機アーキテクチャ] 関 直臣(慶大)
- ・FoxyTechnique: 仮想機械モニタによるOSの資源管理ポリシーの変更 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 山田浩史(慶大)
- ・Gandalf VMM における Shadow Paging の実装と評価 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 伊藤 愛(日本IBM)
- ・電力見える化によるソフトウェア無駄電力の削減 [システムLSI設計技術] 田宮 豊(富士通研)
- ・ノンパラメトリック統計的タイミング解析(SSTA)の実現手法の検討 [システムLSI設計技術] 今井正紀(STARC)
- ・階層型領域分割によるマルチステージ並列前処理手法へのハイブリッド並列プログラミングモデルの適用 [ハイパフォーマンスコンピューティング] 中島研吾(東大)
- ・GPU グリッドによる高速な塩基配列アライメント [ハイパフォーマンスコンピューティング] 伊野文彦(阪大)
- ・SIMD命令を用いるUTF-8文字列デコード処理の高速化 [プログラミング] 井上 拓(日本IBM)
- ・Arc-disjoint In-trees in Directed Graphs [アルゴリズム] 神山直之(京大)
- ・ハイパーグラフを対象とした最大クリーク抽出の分枝限定アルゴリズム [数理モデル化と問題解] 須谷洋一(ソニー)
- ・Embedded Software Development Flow and Verification for a Heterogeneous MPSoC Based on Tightly Coupled Thread Model [組み込みシステム] Arif Ullah Khan(東工大)
- ・組み込みシステムのプロダクトラインにおけるMDA [組み込みシステム] 加藤滋郎(デンソー)

< 情報環境領域 >

- ・IEEE802.11DCF端末との混在環境下におけるMAC Level Fairness向上方式の提案 [マルチメディア通信と分散処理] 重安哲也(広島国際大)
- ・複数拠点統合型センサネットワークテストベッド X-Sensor の設計と実装 [マルチメディア通信と分散処理] 神崎映光(阪大)
- ・効果音によるタッチセンサへの押下感提示の研究 [ヒューマンコンピュータインタラクション] 木村朝子(JST/立命館大)
- ・円筒型マルチタッチインタフェース [ヒューマンコンピュータインタラクション] 内藤真樹(筑波大)
- ・視覚特性を考慮したフォトモザイク [グラフィクスとCAD] 小島加寿代(日本SGI)
- ・環境マップのインタラクティブなデザイン手法 [グラフィクスとCAD] 岡部 誠(Max Planck Institut fur Informatik)
- ・PBL によるビジネス構造の把握を目的とした概念データモデリングの習得 - 学習する側から見た知見の報告 - [情報システムと社会環境] 三好きよみ(日本IBM)
- ・オントロジーを用いたニュース理解支援方式 [情報学基礎] 吉田慶章(東海大)
- ・方向性フィルタバンクにおけるサブバンド信号の分割伝送に関する検討 [オーディオビジュアル複合情報処理] 石川孝明(早大)
- ・授業支援のための投票機能付き匿名相互レビューシステム [グループウェアとネットワークサー] 角田篤泰(名大)
- ・時間配置と構造配置の融合による活動プロセスの協働リフレクションの実現 [グループウェアとネットワークサービス] 友部博教(産総研)
- ・文章のシームレスな表示に関する研究 - 電子テキストの拡大・縮小表示の構想と概要 - [デジタルドキュメント] 杉山正治(立命館大)
- ・データセントリックセンサネットワークにおける位置情報を必要としないルーティング方式の提案 [モバイルコンピューティングとユビキタス通信] 油田健太郎(熊本県立大/宮崎大)
- ・マルチOS環境におけるカーネル補助型難読化方式の提案 [モバイルコンピューティングとユビキタス通信] 中川智尋(NTTドコモ)
- ・IPsec用鍵交換プロトコルにおけるDPD Trigger方式の一検討 [コンピュータセキュリティ] 石山政浩(東芝)
- ・Ajaxを用いたSSHクライアントシステムの提案と実装 [コンピュータセキュリティ] 小須田優介(NECソフト)
- ・車車間通信による安全運転支援システムの性能評価 [高度交通システム] 伊藤健二(豊田中央研)
- ・拡張ユースケースシナリオからテストプログラムの自動生成を支援する開発環境の提案と評価について [システム評価] 古田裕久(三菱電機)
- ・ユビキタス環境のためのスクリプト言語の設計 [ユビキタスコンピューティングシステム] 倉光君郎(横浜国大)

< フロントティア領域 >

- ・ Shift-Reduce法に基づく日本語固有表現抽出 [自然言語処理] 山田寛康 (ジャストシステム)
- ・ ギブスサンプリングを用いた係り受け解析 [自然言語処理] 中川哲治 (NICT)
- ・ 適切な掲載数を決定するキーワード広告オークションの提案 [知能と複雑系] 櫻井祐子 (九大)
- ・ K-means Clustering Based Pixel-wise Object Tracking [コンピュータビジョンとイメージメテ] 華 春生 (阪大)
- ・ 顔認識におけるぼけ除去のためのPSF推定 [コンピュータビジョンとイメージメディア] 西山正志 (東芝)
- ・ 中学校におけるコンピュータを使わない情報教育 (アンブラグド) の評価 [コンピュータと教育] 井戸坂幸男 (松阪市立飯南中)
- ・ 仮想環境ソフトウェアに基づくLinuxネットワークトラブルシューティング実習環境提供システムの開発 [コンピュータと教育] 立岩佑一郎 (名大)
- ・ 暦象オントロジの構築 - 日本旧暦時代の文献分析支援のために - [人文科学とコンピュータ] 相田 満 (国文研)
- ・ 物語映画の時空間分析 - 小津映画を素材として - [人文科学とコンピュータ] 佐藤大和 (東京外大)
- ・ 歌声の旋律と動的特徴を特徴付けるための確率的な表現手法に関する検討 [音楽情報科学] 大石康智 (名大)
- ・ SingBySpeaking: 歌声知覚に重要な音響特徴を制御して話声を歌声に変換するシステム [音楽情] 齋藤 毅 (産総研)
- ・ HMM音声合成システム (HTS) の開発 [音声言語情報処理] 全 炳河 (名工大)
- ・ 頑健なパラメタ推定のための Aggregated EM 法の提案と評価 [音声言語情報処理] 篠崎隆宏 (東工大)
- ・ 情報量に基づく探索制御手法 - チェスにおけるSingular Extensionへの応用 - [ゲーム情報学] 竹内聖悟 (東大)
- ・ コンテンツ再利用可能なイベント駆動型ナビゲーションシステムの開発と実運用 [エンタテインメントコンピューティング] 寺田 努 (神戸大)
- ・ Fast and Accurate Algorithms for Protein Hinge Detection [バイオ情報学] 渋谷哲朗 (東大)

8. 大会優秀賞・大会奨励賞 [第71回全国大会 (平成21年3月) 表彰] [第70回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会]

(1) 大会優秀賞 (12名)

- ・ 大内優子 (岩手県立大)
- ・ 太田沙紀子 (医科歯科大)
- ・ 大谷 真 (湘南工科大)
- ・ 加治 充 (松下電器)
- ・ 神林 亮 (筑波大)
- ・ 小畑拓也 (同志社大)
- ・ 相良 毅 (東大)
- ・ 清水 徹 (ATR)
- ・ 須見康平 (京大)
- ・ 内藤真樹 (筑波大)
- ・ 山崎亜希子 (三菱電機)
- ・ 吉田 稔 (東大)

(2) 大会奨励賞 (9名)

- ・ 今井照之 (NEC)
- ・ 田中美里 (同志社大)
- ・ 徳田浩一 (京大)
- ・ 中山英樹 (東大)
- ・ 登 大遊 (筑波大)
- ・ 羽鳥遼平 (慶大)
- ・ 前田一貴 (京大)
- ・ 真下 洋 (慶大)
- ・ 松井 卓 (筑波大)

9. 教育賞 [第71回全国大会 (平成21年3月) 表彰] [情報処理教育委員会 (平成21年1月)]

(1) 優秀教育賞 (1件)

- ・ 長尾和彦 (弓削商船高専) 「プロコンを通じた実践的情報処理教育と人間形成」

(2) 優秀教材賞 (1件)

- ・ 柴山 潔 (京都工繊大) 「コンピュータ工学分野におけるエンジニアリングデザイン教育用教科書シリーズの開発」

10. 学会活動貢献賞 [第71回全国大会 (平成21年3月) 表彰] [総務財務運営委員会 (平成21年1月)]

(1) 学会活動貢献賞: 「学会誌編集への貢献」 (2名)

- ・ 土井美和子 (東芝)
- ・ 中川晋一 (NICT)

(2) 学会活動貢献賞: 「論文誌の査読貢献」 (3名)

- ・ 鱒坂恒夫 (和歌山大)
- ・ 並木美太郎 (東京農工大)
- ・ 渡邊豊英 (名大)

11. 若手奨励賞 (9件21名) [当該コンテストにて表彰] [若手奨励賞選定委員会 (平成20年4月~21年3月)]

< 第14回スーパーコンピューティングコンテスト (平成20年8月) >

- ・ 安藤翔平 (久留米工業高専)
- ・ 井上昂治 (久留米工業高専)
- ・ 江頭勇治 (久留米工業高専)

< 第19回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (平成20年10月) 課題部門 >

- ・ 伊藤直美 (米子工業高専)
- ・ 渡辺竜二 (米子工業高専)
- ・ 笠見泰敏 (米子工業高専)
- ・ 北村裕介 (米子工業高専)
- ・ 角田一樹 (米子工業高専)

< 第19回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (平成20年10月) 自由部門 >

- ・ 柳本卓哉 (詫間電波高専)
- ・ 池田聡一郎 (詫間電波高専)
- ・ 中井大輔 (詫間電波高専)
- ・ 森長夕貴 (詫間電波高専)
- ・ Senarath Chathurika (詫間電波高専)

< 第19回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (平成20年10月) 競技部門 >

- ・黒坂竜之助（木更津工業高専） 小野塚大貴（木更津工業高専） 大和田真広（木更津工業高専）
- <第8回日本情報オリンピック（平成21年3月）>
- ・副島真（筑波大附属高） ・滝間太基（筑波大附属高） ・保坂和宏（開成高） ・山下洋史（灘高）
- ・村井翔悟（開成中）

12. 情報規格調査会関連の表彰

- (1) 標準化顕功賞（1名） [情報規格調査会総会（平成20年7月）表彰] [情報規格調査会]
 ・今城哲二（東京国際大）
- (1) 標準化功績賞（4名） [情報規格調査会総会（平成20年7月）表彰] [情報規格調査会]
 ・内山光一（東芝ユニジョン） ・後藤志津雄（日立） ・高田秀之（日立） ・成田博和（元 富士通）
- (2) 標準化貢献賞（9名） [情報規格調査会総会（平成20年7月）表彰] [情報規格調査会]
 ・岡本敏雄（電通大） ・新谷勝利（IPA） ・瀬戸洋一（産業技術大学院大） ・高橋俊也（松下電器産業）
 ・竹田 滋（日立） ・原 潔（日本ユニシス） ・松原幸行（キヤノン） ・吉田健一郎（日本品質保証機構）
 ・脇野 淳（沖電気）
- (3) 国際規格開発賞（20名：18件） [情報規格調査会 技術委員会 表彰] [情報規格調査会]
 ・入江 満（大阪産業大） ・上野孝文（パナソニック） ・大塚 玲（産総研） ・金子 格（東京工芸大）
 ・上村圭介（国際大） ・Mark Callow（エイチアイ） ・古賀明彦（日立） ・鈴木輝彦（ソニー）
 ・竜田敏男（情報セキュリティ大） ・田中邦麿（帝京平成大） ・鳥羽 彰（東芝キャリア） ・野水泰之（リコー）
 ・原 潔（日本ユニシス） ・原 潤一（リコー） ・原田 登（NTT） ・松井俊浩（産総研）
 ・宮地充子（北陸先端大） ・向山 博（情報処理推進機構） ・山崎信行（慶大） ・山田昭雄（NEC）
- (4) 工業標準化事業功労者表彰 [工業標準化表彰式（平成20年10月）表彰] [経済産業省]
 ・工業標準化事業表彰 内閣総理大臣表彰：原田節雄（ソニー）
 ・工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰：成田博和（元 富士通），三田真弓（元 ITSCJ），NEC
 ・国際標準化貢献者表彰（産業技術環境局長表彰）：浅井光太郎（三菱電機），小橋一夫（パナソニック），鈴木輝彦（ソニー），
 高山佳久（ソニー），谷津行穂（日本IBM），中尾好秀（イースタンコーワ），村田 真（国際大），山下 経（日立）

13. FIT関連の各賞

[FIT2008（平成20年9月）表彰] [FIT推進委員会]

- (1) 船井業績賞（1名） 船井情報科学振興財団主催
 ・川人光男（ATR脳情報研究所）
- (2) 船井ベストペーパー賞（3件） 船井情報科学振興財団主催
 ・3DCGによる浮世絵構図法 久保友香、趙 捷、宇佐美貴徳、広田光一（東大）
 ・クリックスルーに基づく探検型検索サイトの設計と開発
 酒井哲也、小山田浩史、野上謙一、北村仁美、梶浦正浩、東美奈子、野中由美子、小野雅也、菊池 豊（ニューズウォッチ）
 ・ブロック歪みを考慮した時空間コントラスト感度特性に基づくH.264/AVC符号化器設計
 坂東幸浩、早瀬和也、高村誠之、上倉一人、八島由幸（NTT）
- (3) FIT論文賞（3件）
 ・ソフトウェア不正コピー対策のためのLANアクセス制御システム 山本 賢、岡山聖彦、山井成良（岡山大）
 ・LiNeSにおける仮想ネットワーク間接続機能の開発と実用可能性の検討 立岩佑一郎、安田孝美（名大）
 ・A Counting-Based Approximation the Distribution Function of the Longest Path Length in Directed Acyclic Graphs
 安藤 映、小野廣隆、定兼邦彦、山下雅史（九大）
- (4) FITヤングリサーチャー賞（10名）
 ・加来史也（同志社大） ・安藤 映（九大） ・金子晴彦（東工大） ・明山寛史（鳥取大）
 ・藤巻遼平（NEC） ・粟野直之（大阪工大） ・松尾康孝（NHK） ・大竹 剛（NHK）
 ・綾木良太（同志社大） ・菊地卓也（仙台電波高専）

14. IPSJ Digital Courier船井若手奨励賞（10名） 船井情報科学振興財団主催

[財団褒賞式（平成20年4月）] [学生会員育成委員会]

- ・千葉勇輝（東北大）
- ・NG WAI HONG（早大）
- ・川口信隆（慶大）
- ・鍋木崇史（早大）
- ・比護貴之（東工大）
- ・閻 奔（奈良先端大）
- ・殷 奕（名工大）
- ・寺田晴彦（京大）
- ・山田浩史（慶大）
- ・浅原理人（慶大）